

和歌山電鐵の取り組み それぞれの役割

和歌山電鐵株式会社
岡山電気軌道株式会社
代表取締役専務 磯野省吾

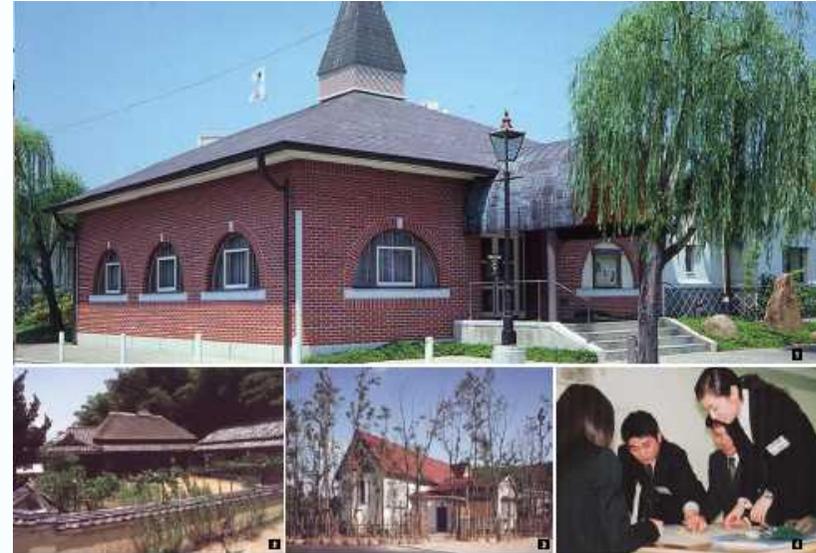
両備グループ

- 岡山電気軌道を含めて、55社
 - 陸・海・空を中心とした交通事業
 - 鉄道・軌道・バス・タクシー・トラック・船舶・空港代理店など
 - その他事業
 - 不動産・情報関連・飲食・ホテルなど
- 総社員数 約 9,000名
- 総売上 約 1,500億円
- 経常利益 約 80億円



グループの特徴

- 情報関連の企業体が 総社員数の2割をしめる
- 郷土の発展への寄与
 - 『両備文化振興財団』
 - 夢二郷土美術館の開設
 - 夢二の生家などの保存と公開
- 信託経営
 - 各社の自主性を重んじる
- 再生と発展の提案
 - 津エアポートライン
 - 和歌山電鐵
 - 中国バス
 - 神戸ベイクルーズ
 - ハロートーキョー
 - 岡山高島屋 等



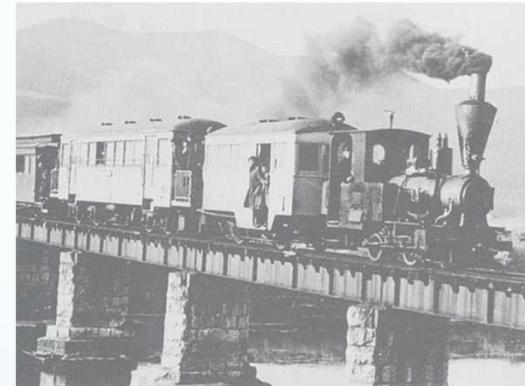
文化・教育 郷土の文化・学術の振興と、社員の能力開発・健康維持をバックアップ

「郷土の発展への寄与」を全社共通のテーマに掲げる両備グループは、岡山で生まれた大正時代を代表する詩人・竹久夢二の作品・資料・生家等を継承し、地域の観光振興に貢献するための「両備文化振興財団」と、生物学分野を基礎にした新産業創出や郷土の文化、教育、スポーツ振興に助成する「両備禮園記念財団」を設立することで、その理念を具現化しました。またグループ社員の専門能力の向上を図る施設「両備教育センター」と、健康維持のサポート機関「両備健康づくりセンター」を設立し、「強い」社員の育成に努めます。そして、「能力主義的安心雇用」の理念をベースに、幸せを感じて社員が働くことで、地域の方々にとっても愛される企業集団でありたいと願っています。



グループ経営理念と方針

- 経営理念
 - 忠恕(ちゅうじょ)
 - 松田与三郎翁 が 信条にしていた言葉
 - 心からの思いやり
- 経営方針
 - 社会への思いやり → 社会正義
 - お客様への思いやり → お客様第一
 - 社員への思いやり → 社員の幸せ



地方公共交通の再生

- 岡山電気軌道による
 - 和歌山県の 和歌山電鐵貴志川線

- 両備ホールディングスによる
 - 中国バス
 - 津エアポートライン
 - 神戸ベイクルーズ
 - 小豆島国際フェリー
 - ハロートーキョー
 - イースタンエアポートモーターズ
 - 井笠バスカンパニー

再生の経緯(民間)

- 市民団体「貴志川線の未来を“つくる”会」
 - 8名で結成され 約1年で 6392名の会員を集めた
- 「WCAN(和歌山市民アクティブネットワーク)」
 - 詳細な分析を行った
 - 「貴志川線存続に向けた市民報告書」の作成と公表
- 他にも計9団体の、多彩な支援活動が行われていた

貴志川線の未来を“つくる”会
kishigawa-sen.com

TOP これまでの活動 資料室 乗継時刻表 つくる会の新

パブリシティ | 南海電鉄 | 行政関係 | 貴志川線の未来を“つくる”会 | 貴志川線運営委員会 |

TOP 更新日: Tue, 30

もっと!おっと!貴志川線

貴志川線の未来を“つくる”会

2008年12月30日 - 貴志川線の未来を“つくる”会

1年間ご支援ありがとうございました

貴志川線も皆様方のご支援ご協力のお陰で、また『いちご電車やおもちゃ電車』『たまスーパー駅長』の活躍もあって乗客も前年比増加し、順調な2008年でした。ありがとうございました。

然しながらまだ黒字経営には至らず、今後も楽観できる状況ではありません。『日本一心豊かなローカル線』とするため貴重な財産である貴志川線が永く走り続けるようにさらに頑張る必要があります。2009年も変わらぬご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

代表 濱口晃夫

投稿者: 事務局 日時: 2008年12月30日 14:35 | パーマリンク
カテゴリー: 貴志川線の未来を“つくる”会

沿線イベント 2008

貴志川線 イベントカレンダー 2008

イベントカレンダー 貴志川線車内の音なども配布し(バックナ)

和歌山電鉄公 同僚グルー

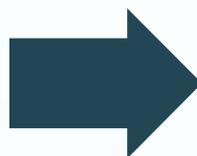
再生の経緯（自治体）

- 和歌山県 和歌山市 紀の川市
 - 検討会議を設置
- 貴志川線の経営を引き継ぐ事業体の
 - 一般公募
- 公募の枠組みを作成し合意
 - 鉄道用地は市・町が買い取って 無償で貸し付ける
 - 用地買収他の大規模改修費 4.7億円を県が負担
 - 市と町が 10年間 8.2億円上限の運営補助

引き受けに対する思い

他都市の廃止案の出ている事業者からの、相談を受けていた縁で、公募の声がかかったが

- 地元根ざした事業者での存続がベストと、常に主張



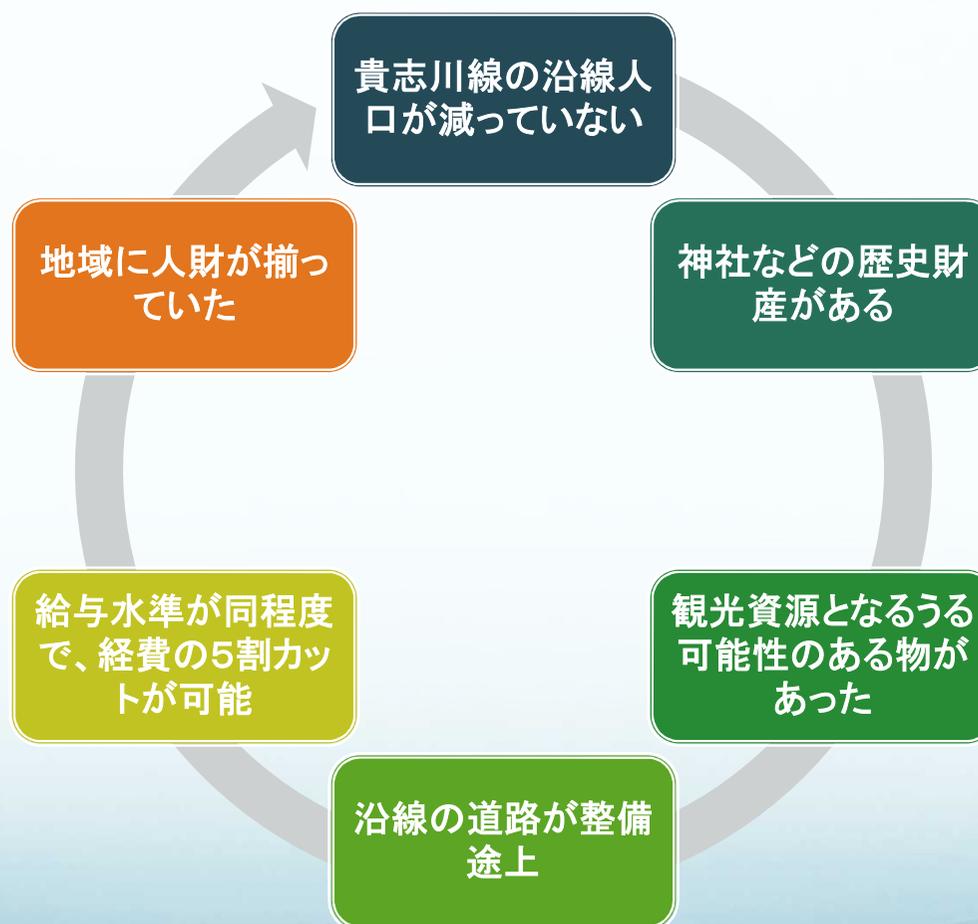
引き受けの結論を導き出したのは

- 応募者の中に鉄道事業者が無かった
- 地方鉄道の再生のモデルを作りたいかった
- 地元岡山を含め**全国の公共交通の活性化に繋がる**
- 地方公共交通の**実情を訴えたかった**
- お客様への恩返し

引き受けの条件



引き受け決定の要素



キャッチフレーズとキーワード

キャッチフレーズ

- 日本一こころ豊かなローカル線を目指す

キーワード

- 知ってもらおう
- 乗ってもらおう
- 住んでもらおう

引き受け決定後

通常とは違い

- 全て新しい社員で、新しい鉄道を目指す
- 募集人員35名に180名の応募

運行までの8ヶ月で

- 会社設立
- 譲渡申請
- 運転士育成
- 社員教育

和歌山電鐵の取り組み

- 社員が何でもやり 考えたことはまず実行
その中から良い物を残していく事の繰り返し

- 運営委員会を設け
地元の意見を反映させる

取り組み

- 運営委員会の設置
- 地元の誇りとなる「いちご電車」の製作
- 老若男女に受け入れられる「おもちゃ電車」の製作
- 「たま駅長」の誕生
- 「たま電車」の製作
- 「たまステーション」へのリニューアル
- うめ星電車の製作

取り組みの状況

- 住民の活動
 - 駅清掃などのボランティア活動
- 各種イベント
 - ギャラリー電車など
- 各種グッズ



いちご電車 1



いちご電車

平成18年8月 運行開始

いちご電車 2



いちご電車 車内

おもちゃ電車 1

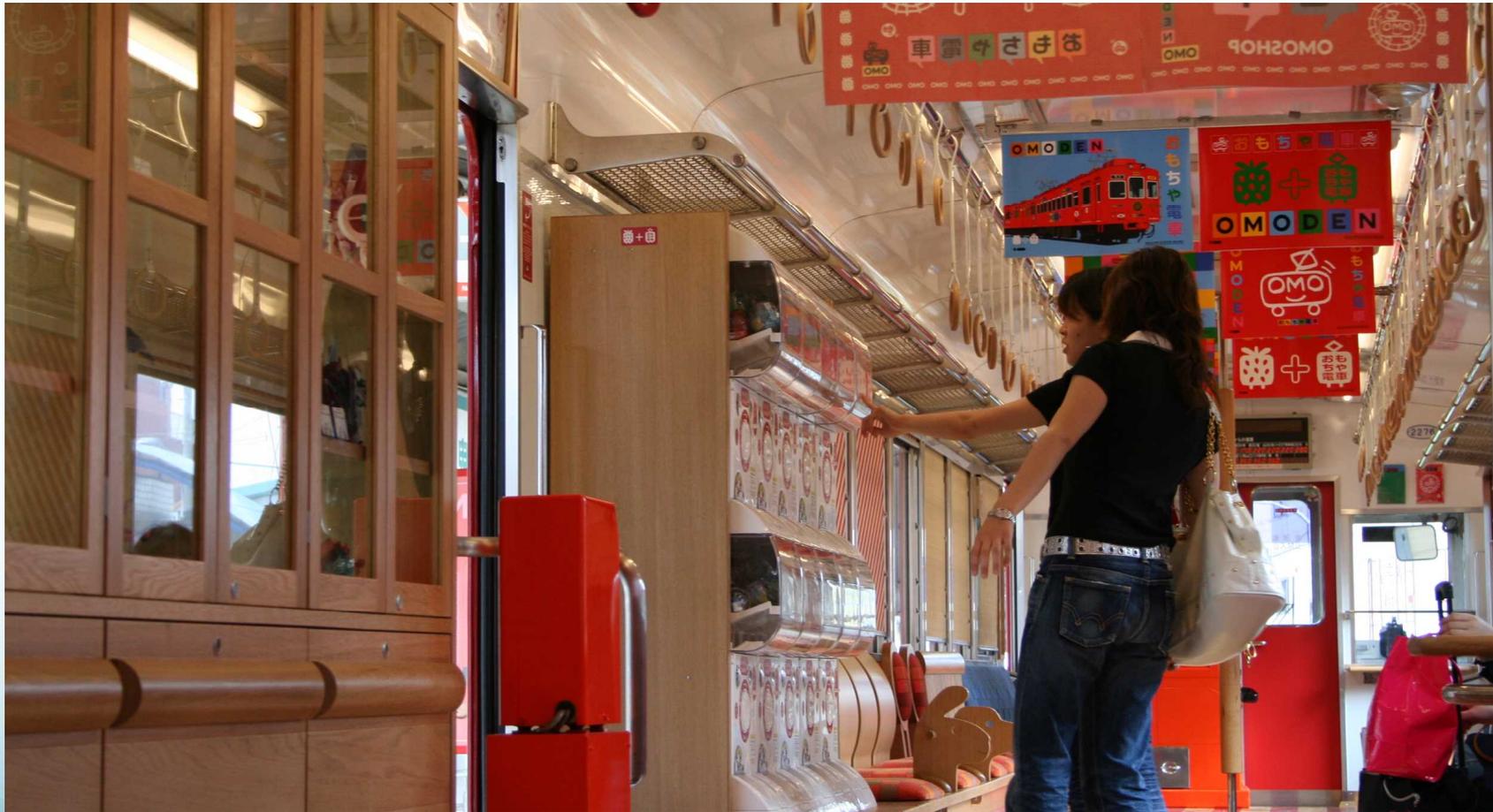


おもちゃ電車 平成19年7月9日運行開始

おもちゃ電車 2



おもちゃ電車 3



取り組みの状況



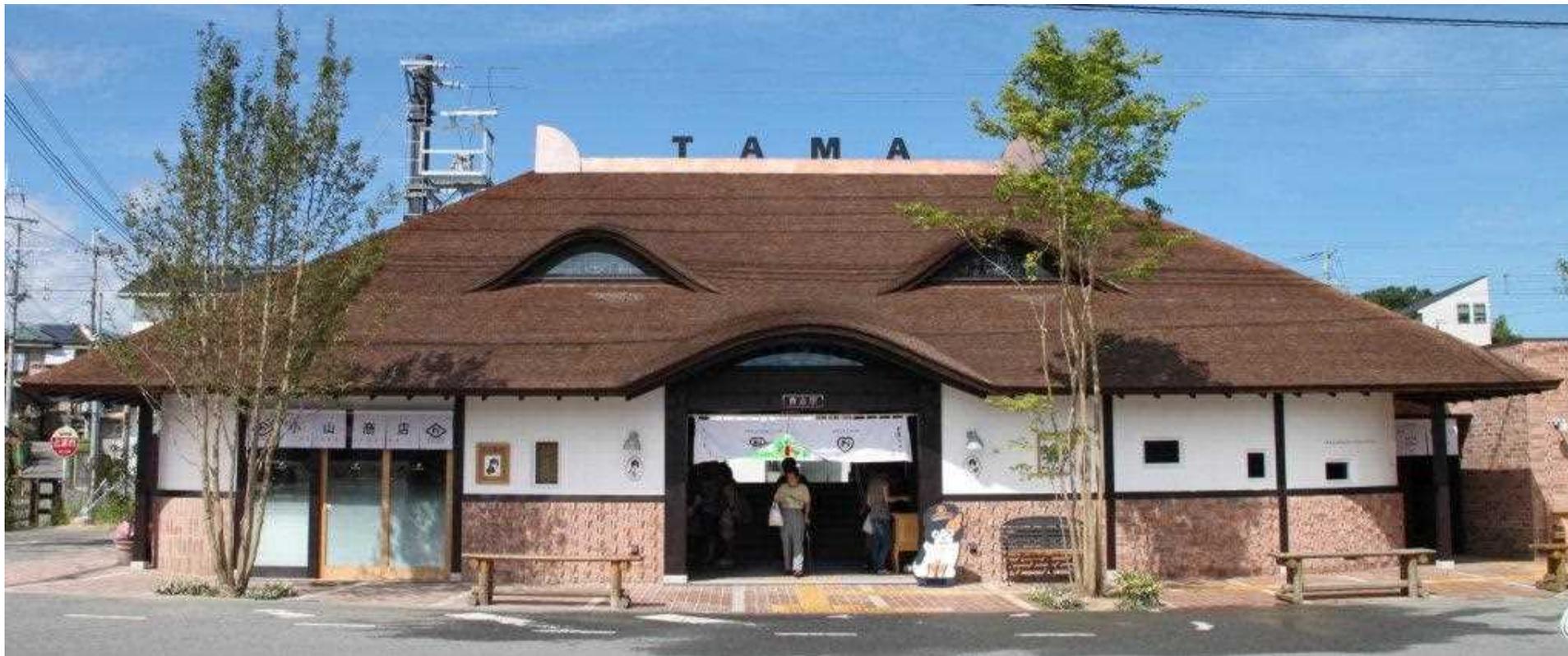
たま電車 2



たま電車 1



貴志駅(たまステーション)



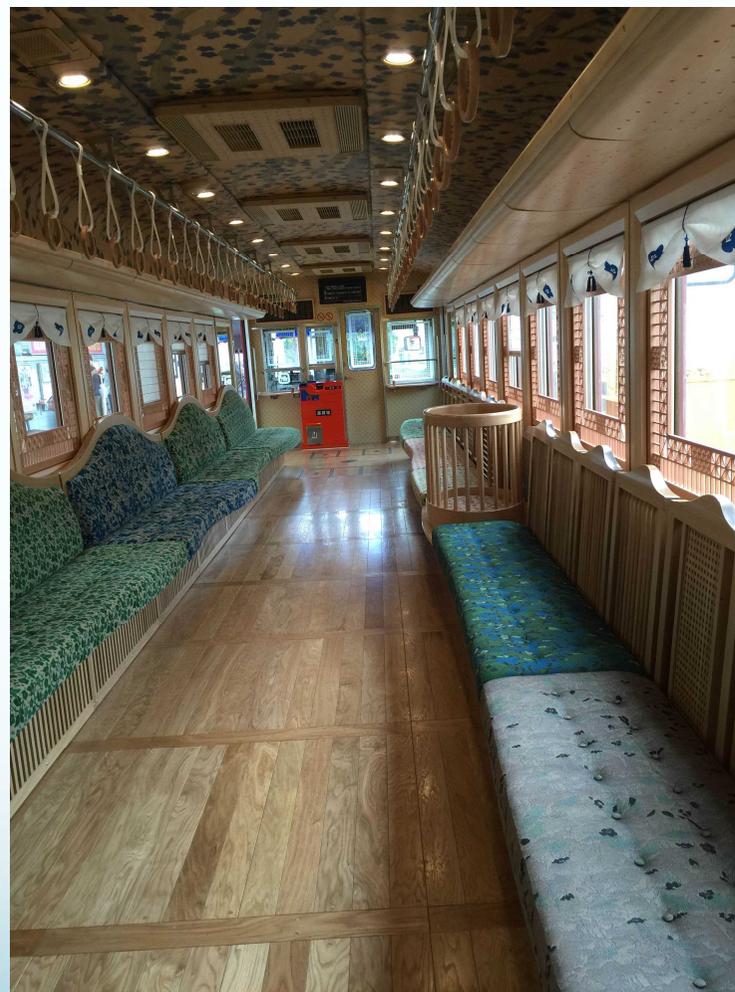
たま神社



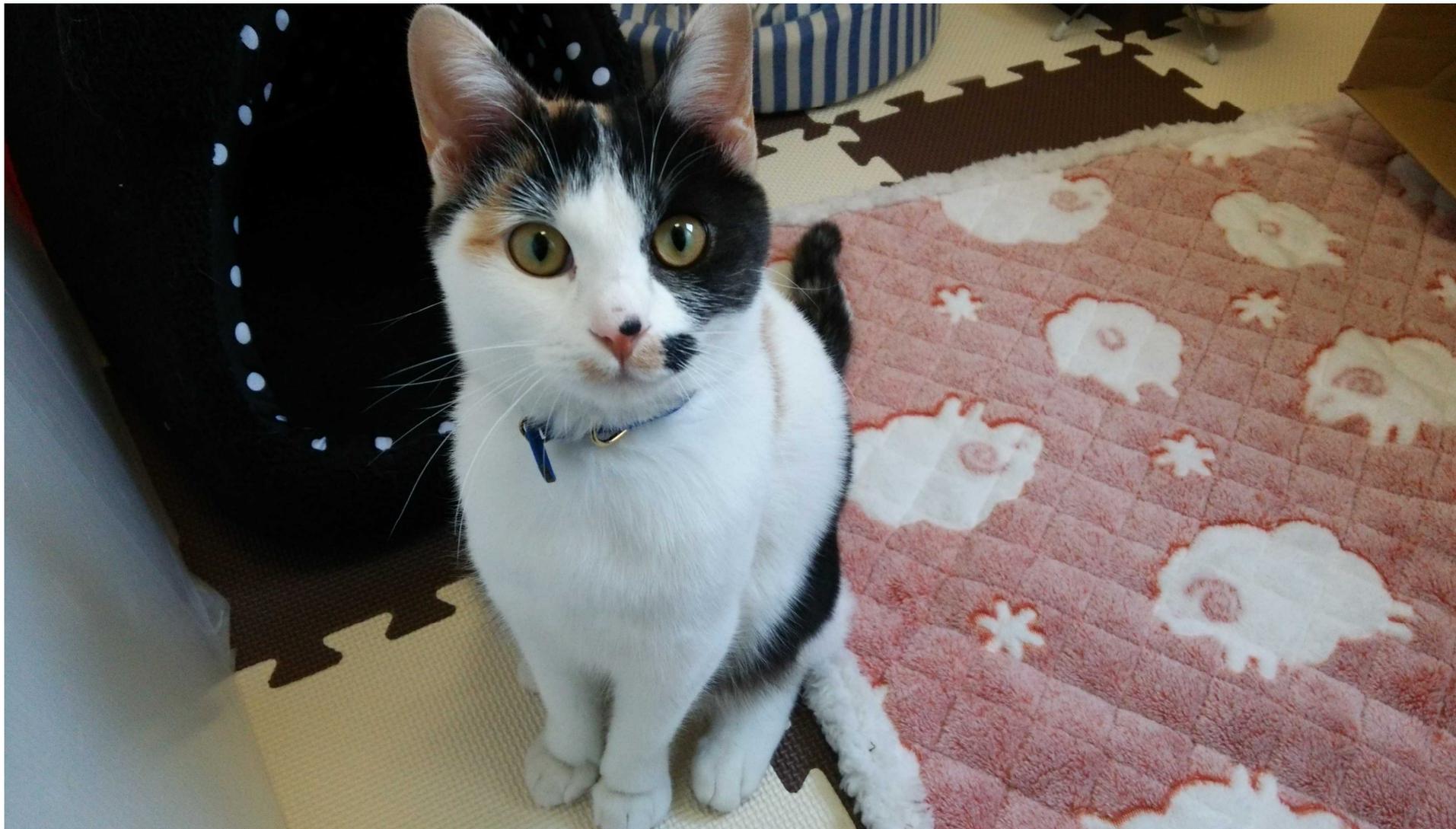
うめ星電車 1



うめ星電車 2



よんたま(伊太祈曾駅長)



たま・おもちゃコロボ電車



顔出しパネル



たま自転車



動物愛護協会ラッピング



チャギントンラッピング



おかでんチャギントン/ブルースター



おかでんチャギントン/ウィルソン



成功の要素とストーリー

本物のストーリーと、
偶然のストーリーが重なる

日頃の気配りと前向きな
努力

決してあきらめない気持ち

事業者の役目

- 物事を行う理念と方針が大切
- 地域と一体となった運営組織が必要
 - 自治体、沿線住民及び企業、沿線の学校
- 沿線住民への努力の見える化
- 各関係機関に地域の鉄道を応援する人を発掘
- トップの積極的な関与
- 社員の熱い思いと知力、体力
- 社員もボランティア精神が必要

行政の役割

- 首長の積極的な関与
- 地方公共交通が必要だと主張できる理論武装
- 各関係機関に地域の鉄道を応援する人を発掘
- 各部署間の連携を図る（観光・農業・都市計画・財政等）
- 国や議会への根回し
- 自らが公共交通を利用
- 沿線住民・企業及び国等へ対しての広報活動

沿線住民の役割

- 自分達の鉄道だと思い誇りを持つ
- 地域と一体となった運営に全面協力
- ご近所、友達に地域の鉄道を応援する人を発掘
- 事業者と行政に対して、お客様が増える提案を行う
- ボランティア精神が必要
- 議会や行政への要望書・陳情書・提案書

和歌山電鐵の現在の課題

- チャレンジ250万人
- 運営補助の今後
 - 上下分離方式の模索
 - 補助金対象外の点検整備費
- 駅周辺の土地利用
- 運転士自社養成
- 和歌山市内への道路新設
- JR和歌山駅と南海和歌山市駅へ乗り入れ
- 和歌山駅のバリアフリー化
- 貨客混載事業の実施